

Meiji Seika ファルマ株式会社

2025 年 6 月 2 日

報道関係各位

**Meiji Seika ファルマとメディカルノート
ワクチン接種による新型コロナウイルス感染症予防の啓発を強化
～信頼度の高い情報をもとに判断を～**

Meiji Seika ファルマ株式会社（本社：東京都中央区、代表取締役社長：小林 大吉郎、以下、Meiji Seika ファルマ）は、株式会社メディカルノート（東京都港区、代表取締役：小林 裕貴、以下、メディカルノート）と連携し、国内最大級の医療情報メディア「Medical Note」内で新型コロナウイルス感染症予防に関するワクチン接種の重要性を伝える啓発記事を公開しましたのでお知らせします。

▼公開記事「新型コロナウイルス感染症対策の次なる選択肢——信頼度の高い情報をもとに判断を」

<https://medicalnote.jp/contents/250424-001-YW>

新型コロナウイルス感染症予防啓発の背景：ワクチンの正しい情報を発信するために

新型コロナウイルス感染症にかかると、後遺症が残って生活の質が大幅に低下することや、命に関わる場合があります。特に、高齢の方や基礎疾患がある方などはそうでない方よりも重症化するリスクが高いとされています。自分自身の感染を防ぐだけでなく、周囲の方を守るためにも適切な感染対策が重要です。

しかし、インターネット上で科学的根拠のない情報が拡散されたことも一因となり、新型コロナワクチンの接種率は低下しているのが現状です。こういった現状を踏まえて新型コロナウイルス感染症がもたらすリスクやワクチンの重要性について理解を深めてもらいたい正確な情報を知ったうえでワクチン接種の判断をして欲しいという思いから、新型コロナウイルス感染症予防の啓発に取り組んでいます。

ワクチンの仕組みや接種の重要性を伝え、新型コロナウイルス感染症予防への理解を促進

新型コロナワクチンの接種は、2024 年 10 月から 65 歳以上の方や 60～64 歳で重度の基礎疾患がある方などを対象とした定期接種が始まりました。この期間の定期接種に使われたワクチンには、2023 年に承認された“次世代 mRNA ワクチン”を含め、5 種類のワクチンがありました。そこで本記事の作成にあたっては、感染症や予防接種をご専門とする川崎医科

大学小児科学 特任教授の中野 貴司先生にインタビューを行い、新型コロナワクチンの種類ごとの特徴をわかりやすく解説していただきました。また、ワクチンについて考える際には科学的根拠の乏しい憶測に惑わされず、信頼できる情報をもとにワクチン接種を正しく理解し、不明な点があれば医師に相談することが推奨されています。さらに、2023年5月以降の流行状況についても、医師の見解をもとにまとめています。

新型コロナワクチンについては、接種することで期待できる効果のほか、感染症予防のメカニズムについて詳しく解説することで、新型コロナウイルス感染症予防やワクチン接種の重要性に関する理解を深めていただける内容となっております。

メディカルノートとの連携によって、より多くの方に信頼性の高い情報を発信

新型コロナワクチンは予防接種法 B 類疾病に対する接種*であり、一人ひとりの意思に基づいて接種するものです。ワクチンに関する正しい知識をもって適切に接種を判断することが大切であるからこそ、メディカルノートと連携して啓発活動を行い、より多くの接種対象者やそのご家族に正しい医療情報を提供することが重要であると考えます。すべての人が“医療”に迷わない社会の実現に向け、誠心誠意努めてまいります。

*B 類疾病：予防接種法で接種が定められているワクチンのうち、努力義務や国の積極的勧奨がないもの。新型コロナのほか季節性インフルエンザや高齢者の肺炎球菌感染症が該当する。

【参考】株式会社メディカルノートとは

株式会社メディカルノートは、「医師と患者をつなぐ」をビジョンに掲げ、すべての人が“医療”に迷わない社会を目指す企業です。

一般生活者・患者向け医療情報メディア「Medical Note」を運営。臨床・研究・教育の第一線で活躍を続ける医師や専門家の協力のもと、最新のエビデンスや専門家の臨床経験に基づいた信頼できる医療情報を多くの方に届け、一般的な疾患だけでなくがんなどの課題が大きな疾患、特に難病・希少疾患領域に強みを有しております。

リアルとデジタルを融合することで医療をより身近なものとし、誰もが最適な医療を選択できる社会の実現を目指します。